

2023年度環境経営レポート

対象期間：2023年10月～2024年9月



2024年11月20日発行

山本鑿泉水道株式会社



エコアクション21
認証番号0006585

承認 社長	起案 環境管理責任者
山本 恭	山本 敏

目 次

1. 組織の概要	P - 3
2. エコアクション21環境経営システム 実施体制図及び役割・責任・権限	P - 4
3. 環境経営方針	P - 5
4. 環境経営目標とその実績	P - 6
5. 環境経営計画の取組結果と その評価、次年度の取組内容	P - 7
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	P - 8
7. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果	P - 8

1. 組織の概要

【事業所名】：山本鑿泉水道株式会社

【代表者氏名】：代表取締役 山本 恭兵

【対象事業所名】：山本鑿泉水道株式会社 本社

【所在地】：兵庫県姫路市龍野町6丁目36

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

：環境管理責任者 山本 敏子(取締役)

：TEL 079-294-9385 : FAX 079-292-3048

【対象事業活動】：給排水衛生及び空調換気設備工事

【認証・登録番号】：0006585

【有効期限】：2025年2月7日

【事業内容】

(1)建設業許可：特定建設業 兵庫県知事許可

：(特-1) 第 451888 号

：令和 2 年 2 月 15 日

(2)建設業の種類：管工事業 土木工事業
水道施設工事業 消防施設工事業

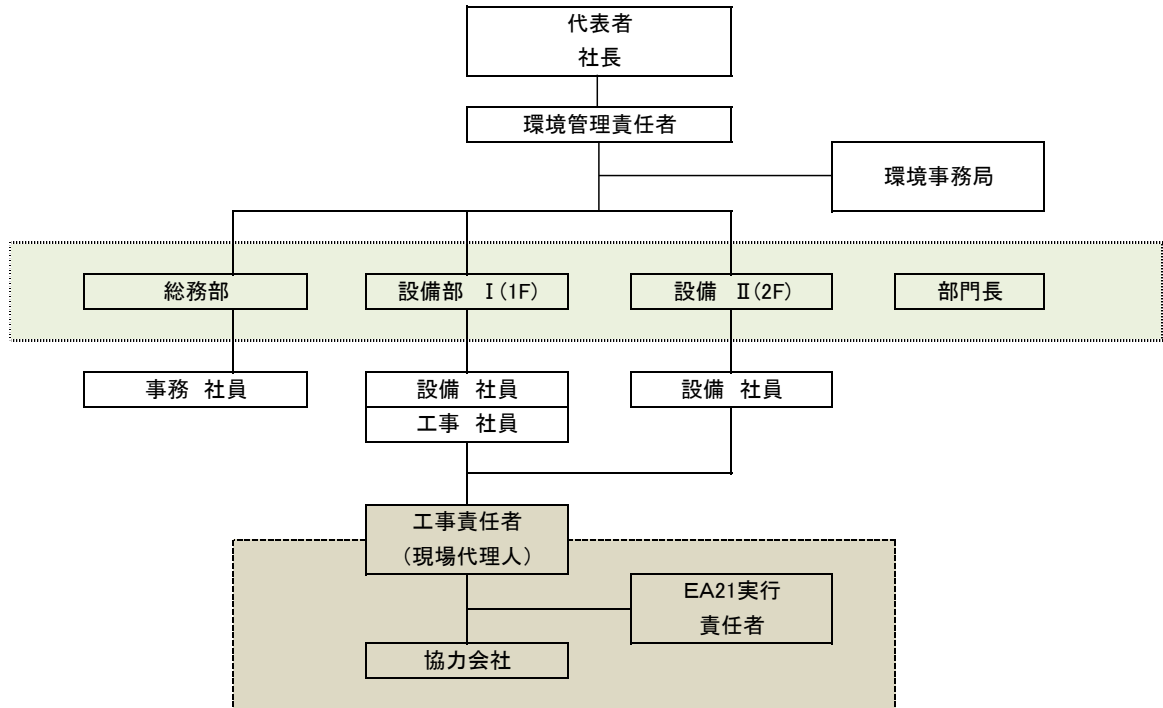
(3)事業規模：

活動規模	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	百万円	675	520	412	385
従業員	人	15	15	14	14
床面積	m ²	201	201	201	201

(4)主な環境負荷の状況：

活動規模	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	34,463	35,261	34,079	35,020
産業廃棄物排出量	t	5.97	4	6.46	3.7
水使用量	m ³	262	246	204	170

2. エコアクション21環境経営システム実施体制図及び役割・責任・権限



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認 ・経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 ・環境教育訓練計画の作成と実施の管理 ・特定された項目の手順書作成（緊急事態への対応を含む） ・環境経営レポートの作成、公開（事務所への備付けと地域事務局への送付）
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の運用管理 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
工事責任者 (現場代理人)	・建設現場における環境経営システムの実施 ・工事担当者及び協力会社員に対する教育訓練の実施 ・建設現場の環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・緊急事態対応訓練の実施、記録の作成 ・建設現場での問題点の発見、是正、予防措置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3. 環境経営方針

1. 環境理念

当社は「努力・熱意・誠意」と言う企業理念のもと、給排水衛生及び空調換気設備工事に
関わる営業活動を通じて快適な水と空気、そして環境に配慮したシステムを、
お客様に提供する事を、経営の最重要課題の一つと位置づけ、経営における課題とチャンス
定期的に明確化し、可能な範囲で環境経営方針又は環境経営目標に反映するとともに、
環境への負荷の削減に努め、地域社会（お客様）から信頼される企業を目指します。

2. 経営指針

当社は、社員が自己の職務権限と責任を自覚して、環境経営活動に積極的に参加し、
社員1人1人が自己の働きがいのある職場の環境づくりと共に地域社会全体の
明るい未来づくりのために、自然環境を大切に以下項目に取り組めます。

(1) 環境関連法規等の遵守

(2) エコアクション21環境経営システムを構築・運用し、汚染の予防と
継続的改善に努める

(3) 活動重点項目

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| ① 二酸化炭素排出量の削減 | ・電力使用量の削減 |
| | ・自動車燃費改善の為の適正活動 |
| ② 紙資源の削減 | ・紙資源の節約 |
| ③ 廃棄物排出量の削減 | ・廃棄物の分別の徹底と削減 |
| ④ 水使用量の削減 | ・上水使用改善の為の適正活動 |
| ⑤ 建設現場における環境への取組の自己チェックの徹底 | ・環境負荷の低減 |

(4) 技術・技能の伝承をより効果的・積極的に行うこと

(5) 若手の人材を確保するよう努める

3. この環境経営方針は当社全従業員に周知するとともに、環境経営レポートを公開します。

制定日 : 2010年 5月31日

改定日⑥ : 2021年11月20日

山本鑿泉水道株式会社

代表取締役 山本 恭兵

4. 環境経営目標と2023年度の実績・環境経営計画の実績

当社の主な環境経営目標とその実績は次の通りです。

項目			年 度 目標・実績		2022年度実績値 2022.10～ 2023.9 (基準年度の実績値 を基準値とします)	2023年度			2024年度	2025年度	2026年度
						基準値より-1% 2023.10～2024.9			基準値より-1% 2024.10～ 2025.9	基準値より-1% 2025.10～ 2026.9	基準値より-1% 2026.10～ 2027.9
			基準値	目標	実績	達成率	目標	目標	目標		
CO2総排出量 (事務所+建設現場)			kg-CO2	33,843	33,505	35,020	96%	33,505	33,505	33,505	
電力	使用量(事務所)		kWh	25,206	24,953	24,527	102%	24,953	24,953	24,953	
	削減率		%	——	1.0	2.8	——	1.0	1.0	1.0	
	CO2排出量		kg-CO2	8,822	8,734	8,584	——	8,734	8,734	8,734	
ガソリン	使用量		ℓ	10,785	10,677	11,395	94%	10,677	10,677	10,677	
	自動車燃費(事務所)		km/ℓ	12.10	12.22	12.20	100%	12.22	12.22	12.22	
	CO2排出量		kg-CO2	25,021	24,771	26,436	——	24,771	24,771	24,771	
水	水使用量(事務所)		m³	204	202	170	119%	202	202	202	
	削減率(基準年比)		%	——	1.0	16.7	——	1.0	1.0	1.0	
紙資源	コピー用紙	コピー用紙使用量 (事務所)	冊 (A4換算)	68	67	75	89%	67	67	67	
		削減率(基準年比)	%	——	1.0	10.3	——	1.0	1.0	1.0	
産業廃棄物	排出量 (事務所・建設現場)		t	6.46	6.36	3.70	172%	6.36	6.36	6.36	
	リサイクル率の向上		%	39.9%	基準値より+1% 40.2%	37.8%	94%	基準値より+1% 40.2%	基準値より+1% 40.2%	基準値より+1% 40.2%	
課題と チャンス推進	(1) 採用情報を掲載		①ハローワークに掲載 ②ホームページに掲載								
	(2) 社員の育成		①各個人のレベルアップ応援 ②作業手順書の作成								
環境負荷	建設現場での環境負 荷低減自己チェックポイント		%	——	100%	100%	100%	100%	100%	100%	

※電力のCO₂排出係数は、2020年度関西電力公表の調整後排出係数 0.350(kg-CO₂/kWh)と

※廃棄物・環境負荷の削減については当社で定めたチェック項目(環境目標及び環境活動計画と進捗管理表)に基づいている。

※産業廃棄物・リサイクル率管理の2023年度の目標は、2022年度実績値に基づいている。

【評価】○ 十分出来た
△ まあまあ出来た
× 全く出来なかった

5. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

区分		主な取り組み	評価	次年度の取組内容
事務所	電力使用量の削減	1. 前事務所のエアコンを省エネタイプに更新	○	人がいない場所等は、こまめに電気を消すように心がける。 適正管理に移行する。
		2. 冷・暖房時の適切な温度管理	○	
		3. 空調機のフィルターの清掃/月	○	
		4. 不使用時の消灯	○	
		5. 網戸使用により通気をよくし、冷房使用時間を短縮する	○	
事務所	ガソリン使用自動車燃費の改善	1. 運転日報にエンジンオイル交換時期を記入	○	オイルと共にタイヤの溝、空気圧の点検を徹底。 適正管理に移行する。
		2. アイドリングをやめる	○	
		3. 月1回以上実施状況を確認する。	○	
事務所	水使用量の削減	1. 事務所の便器を節水型に更新	○	水使用量の上限目標は40㎡とし、節水の為の適正活動を行っているかのチェックをする。 適正管理に移行する。
		2. 2ヶ月毎の使用量を上限50㎡にする。	○	
		3. 洗浄の際、洗剤を適正使用する。	○	
		4. 月4回以上実施状況を確認する。	○	
事務所	コピー用紙使用量の削減	1. 印刷、コピー用紙の両面刷り	○	引き続き続けていきたい。 適正管理に移行する。
		2. コピー用紙の裏面利用	○	
		3. コピー対象物・枚数の事前確認	○	
		4. コピー対象文書の見直し	○	
		5. 月4回以上実施状況を確認する。	○	
事務所・建設現場	産業廃棄物・リサイクル率の向上	1. 分別対象廃棄物を決定する。	○	産業廃棄物内に一般廃棄物混入防止の徹底。
		2. 区分ごとに分別表示をする。	○	
		3. 購入先に簡易包装・返却を依頼する。	○	
		4. 分別の徹底	○	
		5. 月4回以上実施状況を確認する。	○	
課題とチャンスの推進	(1)採用情報を掲載	1. ハローワークに掲載 2. ホームページに掲載	○ ○	引き続き続けていきたい。
	(2)社員の育成	1. 各個人のレベルアップ応援 2. 作業手順書の作成	○ ○	見積りソフトの活用
建設現場	廃棄物分別の徹底	1. 分別対象廃棄物を決定する。	○	引き続き続けていきたい
		2. 区分ごとに分別表示をする。	○	
3. 購入先に簡易包装・返却を依頼する。		○		
4. 月4回以上実施状況を確認する。		○		
建設現場	建設現場環境負荷低減の自己チェック	騒音、振動、廃棄物分別等15項目の環境負荷について全ての建設現場で自己チェックを実施・評価し、環境負荷の低減を行った。	○	引き続き続けていきたい

【※環境への取組の自己チェック評価結果 2020年度 92.7% 2021年度 95.6%】

※ 電力・ガソリン・水・コピー用紙に関しては、エコアクション21を取得後、毎年無駄の削減について真摯に取り組んできており、ほぼ適正な数値まで到達したと考えられる。
そこで次年度からはこの項目について、全て適正管理に改め、基準数値としては毎年ごとのバラツキを修正する為、過去4年分の数値を月毎に平均したものを使用する事としたい。

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

適用される法規制等	遵守すべき要求事項	確認・評価
廃棄物処理法	・一般廃棄物の許可の確認 ・産業廃棄物の収集・運搬の許可の確認・契約 ・マニフェストの交付と回収、交付状況の報告	遵守
建設リサイクル法	・特定建設資材の再資源化 ・特定建設資材と再生資源の利用量の把握等による計画の作成と実施記録の保存	遵守
家電リサイクル法	・リサイクル及びリユースを確実にを行う業者への処理委託	遵守
自動車リサイクル法	・引き取り業者への引き渡し	遵守
資源有効利用促進法	・事業系業務用廃パソコン メーカーへの引渡し	遵守
フロン排出抑制法	・製品の外観確認等、3ヶ月に1回以上簡易点検をする ・機器の点検と記録、冷媒漏洩時の適切な対応。 ・回収依頼書の交付と引取証明書の受領・保管	遵守
下水道法	・公共下水道設置・変更届出	遵守

(2) 違反、訴訟等の有無

- ・ 自社の事業活動に関する法令違反はありません。
- ・ 関係当局からの違反等の指摘は、過去3年間なく 訴訟もありません。

7. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

見直し結果	変更の必要性の有無及び指示事項
1. 環境経営方針	現状のまま継続する。
2. 環境経営目標	現状のまま継続する。
3. 環境経営計画	ガソリン燃費向上は継続し、水使用量は適正管理に変更する。
4. 実施体制	現状のまま継続する。